

お知らせ



国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
松江国道事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and
Tourism Chugoku Regional Development Bureau,
Matsue National Highway Office

<同時資料提供先>島根県政記者会

令和6年12月18日

【E9】山陰道 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路【延長8.9km】

(出雲IC～出雲多伎IC間)

令和7年3月2日(日)に開通します

【E9】出雲・湖陵道路(延長4.4km)と湖陵・多伎道路(延長4.5km)の延長8.9kmについて、令和7年3月2日(日)に開通することになったので、お知らせします。

これにより高速道路が鳥取県境～石見福光IC(大田市温泉津町)まで連続して通行することが可能となります。

開通に先立ち、新たに設けるインターチェンジ(IC)の名称が正式に決定しましたのでお知らせします。

■今回の開通により期待される効果

- ①島根県庁～浜田市役所間が山陰道を利用することで約10分短縮!
- ②世界トップシェアを誇る企業が立地する出雲市への更なる企業進出・雇用機会が増加!
- ③島根県東部地域の山陰道が繋がることで観光地への周遊性が向上!
- ④安定した走行によりCO₂の排出量を削減!
- ⑤地域安全保障の確保に向けた国道9号における死傷事故の減少に期待!
- ⑥大規模災害に備えたネットワークの整備により代替路機能の向上!
- ⑦出雲市と大田市が山陰道でつながることで、第三次救急医療機関へスムーズに搬送!患者への負担軽減に期待!

■インターチェンジ(IC)名称

決定したインターチェンジ(IC)名称	所在地	これまで使用していたインターチェンジ(IC)名称(仮称)
いずもこりょう 出雲湖陵	しまね いずも こりょうちょう 島根県出雲市湖陵町	こりょう 湖陵

※開通式および通行可能時間については、詳細が決まり次第あらためてお知らせします。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

副所長(改築) 今田 修 (いまだ おさむ)

工務課長 野津 修司 (のつ しゅうじ)

計画課長 水田 雄士 (みずた ゆうじ)

TEL: (0852) 60-1345

※松江国道事務所では、X(旧Twitter)による情報発信を行っています。

X: https://x.com/road_matsue

※道路の異状を発見したら、道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ



松江国道事務所
HP



松江国道事務所
X(旧Twitter)

事業の概要 (出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路)

- 山陰道（出雲～仁摩間）は、緊急時の代替路線の確保、現道の隘路区間の解消、観光・医療・物流活動の支援、地域間広域交流の促進及び地域活性化等を目的とした延長37.1kmの事業です。
- 平成30年3月に朝山・大田道路、平成31年3月に多伎・朝山道路が、令和6年3月に大田・静間道路、静間・仁摩道路が開通しています。
- **今回、出雲・湖陵道路の延長4.4kmと湖陵・多伎道路の延長4.5kmが令和7年3月2日（日）に開通します。**

計画概要図



事業概要

	湖陵・多伎道路	出雲・湖陵道路
起終点 [上段：起点] [下段：終点]	出雲市湖陵町三部 出雲市多伎町久村	出雲市知井宮町 出雲市湖陵町三部
延長	4.5km	4.4km
道路の規格	第1種第3級	
設計速度	80km/h	
車線数	暫定2車線	

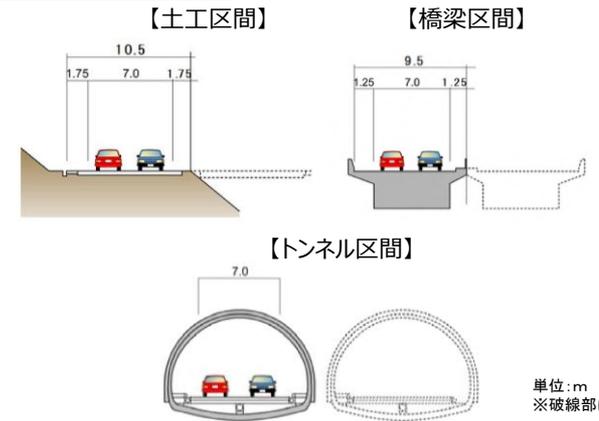
【インターチェンジ名称】

決定名称	所在地
出雲湖陵IC	出雲市湖陵町

【案内標識】



標準断面図



単位：m
※破線部は4車線完成時

主要都市間の所要時間が短縮します！

●東西に長い島根県は、東西主要都市間（島根県庁～浜田市役所）の移動に時間を要しています。山陰道が整備されることで移動時間が短縮され、人流、物流、産業、観光等の様々な分野での交流活性化が期待されています。

位置図



主要断面の交通量（開通前）



所要時間短縮効果



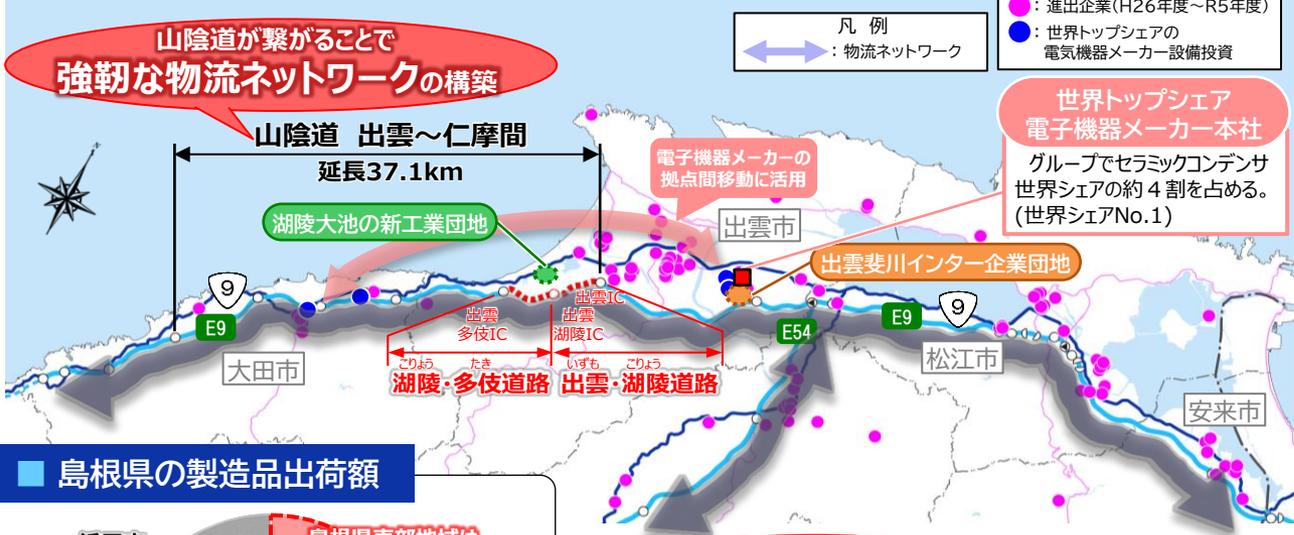
資料：国道9号は交通量調査およびCCTVAIによる観測値、山陰道は常設トラカンによる観測値およびNEXCOによる交通量調査、観測日はR6.9.11(水)

資料：大田・静間道路、静間・仁摩道路のみETC2.0プローブデータ(R6.8)、出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路はV=70km/h
その他道路は、R3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時平均旅行速度より算出。

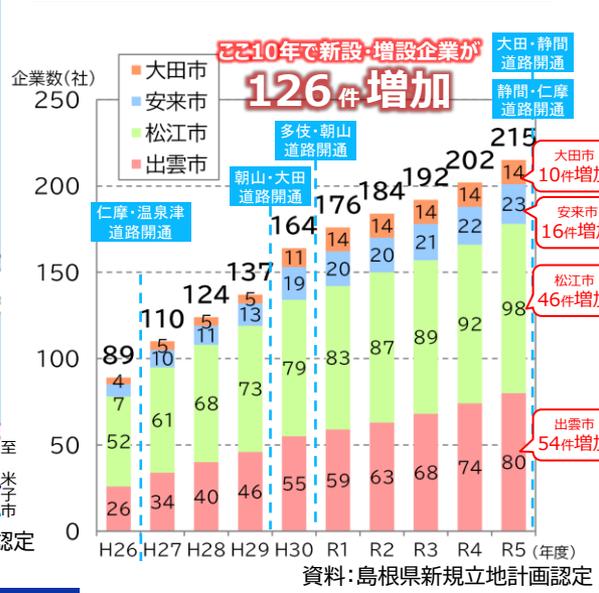
更なる企業進出・雇用機会が増加

- 島根県東部地域の山陰道沿線地域では、企業の設備投資が進んでおり、県内の製造品出荷額の7割以上を占めています。
- 出雲市は**世界トップシェアを誇る企業**も立地しており、更なる工業団地や企業団地の計画が進められています。
- 出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路の開通により、**強靱な物流ネットワークが構築**され、出雲市へのアクセス性が向上し**更なる企業進出や雇用機会の増加**が期待されます。

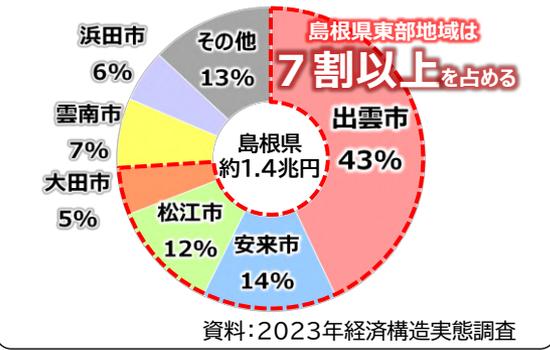
山陰道沿線地域における設備投資状況(H26年度～R5年度)



累計企業進出状況(新設・増設)



島根県の製造品出荷額



湖陵大池の新工業団地

「出雲・湖陵道路」「湖陵・多伎道路」が本年度開通する見込みとなり、企業立地の関心が高まりつつあることから整備することとなった。R11年に整備完了、分譲開始を予定している。

資料：出雲市HP

アクセス性が向上し企業立地や雇用の拡大に期待

出雲斐川インター企業団地

山陰道インターチェンジや出雲空港に近い抜群の交通アクセスを活かし、企業立地を促進するため整備することとなった。R8年2月に造成工事完了を予定している。



地域の声

- 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の整備が、湖陵大池の新工業団地整備の重要な決め手となった。
- 交通アクセス向上等は、出雲市の企業誘致に当たって、宣伝材料になる。
- これまで市の東側に企業や工業団地が固まっていたため、西側にも企業団地を整備することで、**西側の人口定着や雇用機会の増加を期待**している。

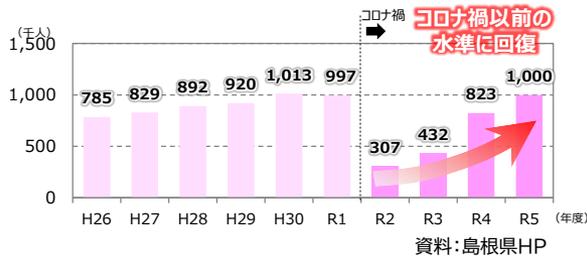


(R6年9月 出雲市役所 ヒアリング調査結果)

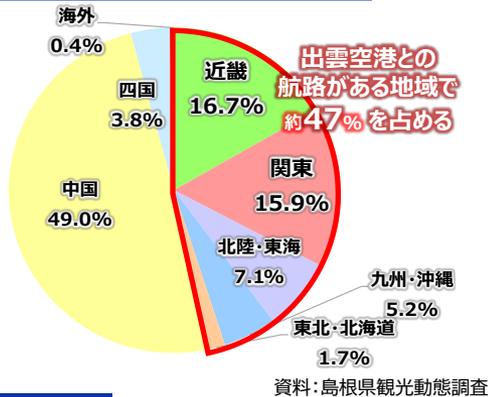
アクセス強化による観光の周遊性向上

- 島根県のゲートウェイ機能を担う出雲空港の利用者は、近年増加傾向でコロナ禍前の水準まで回復しています。
- また、県外の観光入込客数割合は、中国地方以外の観光客が半数近くを占めています。
- 島根県には出雲大社をはじめ、県内唯一の世界遺産の石見銀山等、魅力的な観光資源が豊富です。
- 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通により、島根県東部地域内での周遊性が向上し、滞在時間や立ち寄り施設数の増加が期待されます。

出雲空港の利用者数



発地別県外観光入込客割合



地域の声

- 都市部からの観光客は、松江市や出雲市までの観光でなかなか大田市方面には足を運んでもらえていない。
- 道路が開通することで移動時間が短縮し、大田市方面への周遊拡大を期待している。



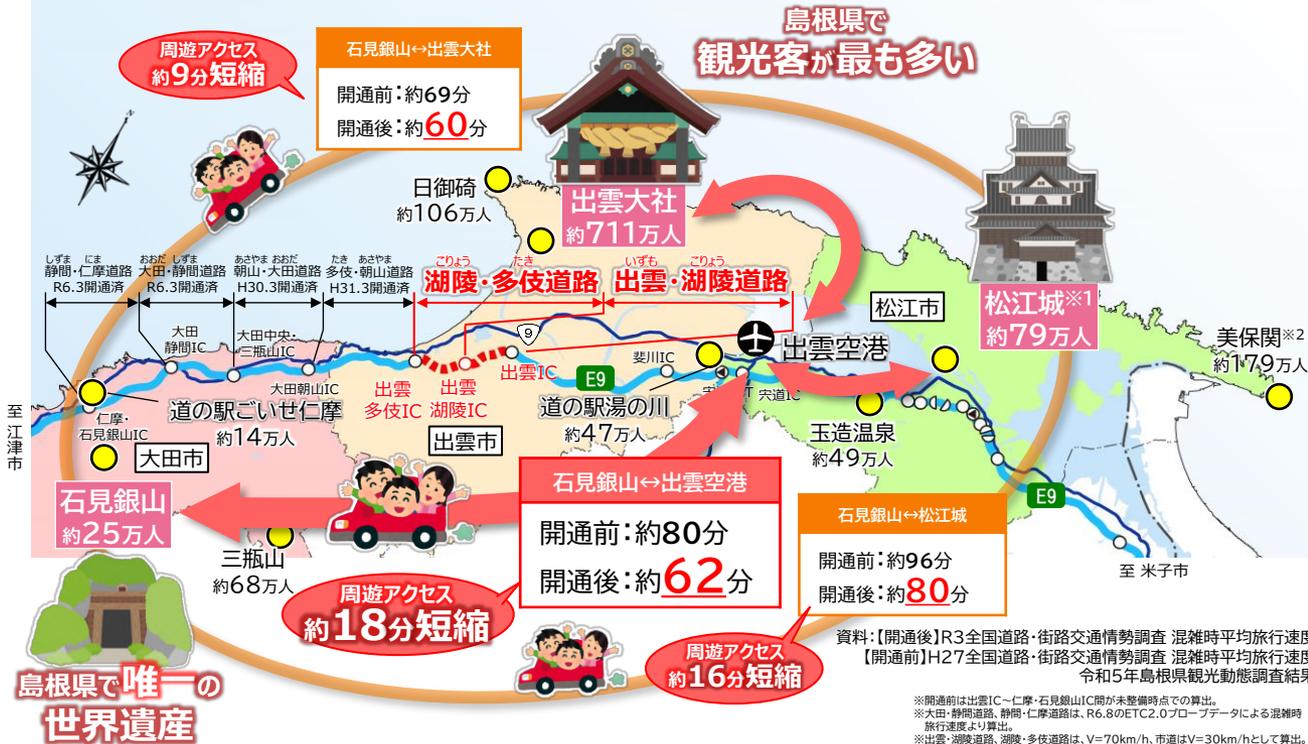
(R6年9月 大田市役所 ヒアリング調査結果)

- 島根県の観光客は、松江市と出雲市が目的地の観光がほとんどだが、出雲市と大田市間が山陰道で繋がることで周遊性が向上し、東側から石見銀山をめぐる新たな観光コースができることに期待している。



(R6年9月 公益社団法人島根県観光連盟 ヒアリング調査結果)

松江市、出雲市、大田市の観光地について



- 出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路に並行する国道9号は、信号交差点が複数点在しているため、加減速が生じておりCO₂の排出量が多い状態となっている。
- 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通によって、通過交通が山陰道へ転換し、旅行速度の向上によるCO₂排出量の削減効果が期待されます。

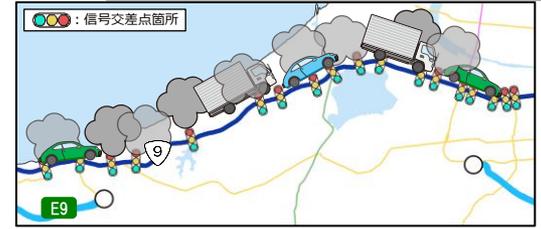
山陰道と国道9号の加減速発生状況

CO₂排出量の増加には車両の加減速が関連することから、山陰道と国道9号の加減速発生状況を確認

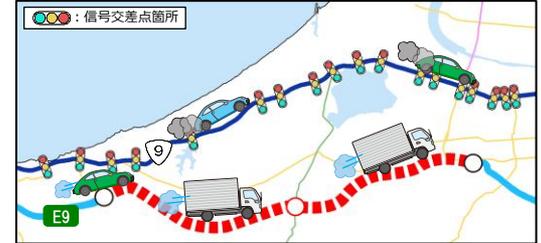


排出量変化のイメージ

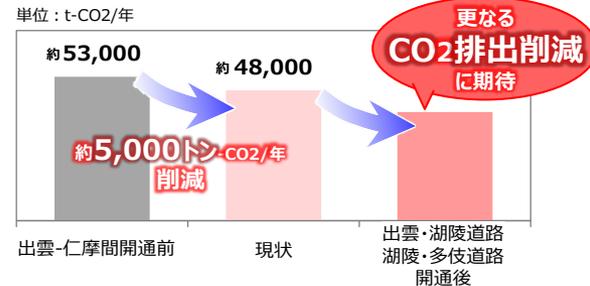
開通前 信号交差点が多い箇所では、車両の加減速が生じCO₂増加の要因となっている。



開通後 国道9号から山陰道に車両が転換することで安定した走行が可能となり、CO₂排出量が削減される。



道路整備によるCO₂削減効果



【道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠(平成22年度版 国土技術政策総合研究所)を基に、以下のデータを用いて試算
【開通前】H27全国道路・街路交通情勢調査
【現 状】R3全国道路・街路交通情勢調査、ETC2.0プローブデータ(R6.8)、交通量調査(開通半年後)

地域安全保障の確保 (交通事故減少)

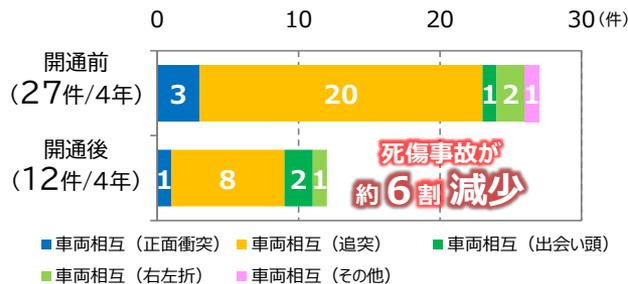
- 国道9号は死傷事故率が全国平均より高い箇所が存在しており、追突事故が特に多い状況で、死亡事故も発生しています。
- なお、山陰道の開通によって、並行する国道9号の死傷事故の発生が大幅に減少する傾向が確認できています。
- 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通により、国道9号における死傷事故の減少が期待されます。

国道9号の死傷事故発生状況



朝山・大田道路の開通前後における事故類型の変化

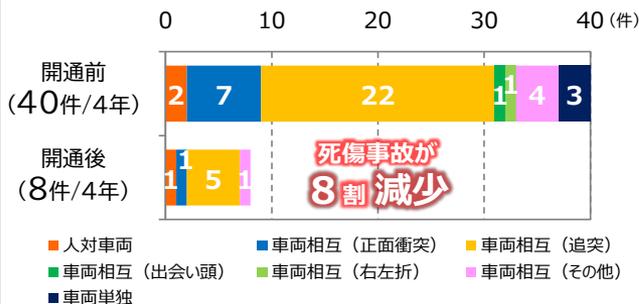
【事故類型別死傷事故件数】



資料: 交通事故・道路統合データベース(H26~R4)
※開通前: H26.4~H30.3, 開通後: H30.4~R4.3
注) 国道9号並行現道区間は富山入口交差点~大田三瓶山IC交差点

多伎・朝山道路の開通前後における事故類型の変化

【事故類型別死傷事故件数】



資料: 交通事故・道路統合データベース(H27~R4)
※開通前: H27.4~H30.12, 開通後: H31.4~R4.12
注) 国道9号並行現道区間は道の駅前交差点~富山入口交差点

出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路に並行する国道9号

【事故類型別死傷事故件数】



資料: 交通事故・道路統合データベース(R1~R4)
注) 国道9号並行現道区間は出雲IC~道の駅前交差点

地域安全保障の確保（迂回路確保）

- 島根県東部の国道9号では、災害や事故による通行止めによって大幅な迂回を強いられ、生活や物流に大きな支障をきたしてきました。
- 出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路の開通によって、**島根県東部地域のエッセンシャルネットワーク※が構築され、通行止め時の代替機能向上が期待されます。**

■ 国道9号の通行止め実績と迂回状況

※エッセンシャルネットワーク：人口減少や大規模災害リスクの中で、地方部における生活圏人口の維持に不可欠な高規格道路



■ 国道9号通行止め発生履歴



■ 地すべりによる通行止め

令和3年8月、大雨により、一般国道9号（出雲市多伎町内）で地すべりが発生。**全面通行止め**が発生し**迂回が必要**となった。（2ヶ月間の通行止）
大田・静間道路、静間・仁摩道路の開通により、**山陰道を迂回路として利用することが可能**となった。



■ 地域の声

● 出雲市から西方面への物流において、出雲・湖陵道路及び湖陵・多伎道路が繋がることで、**国道9号が通行止めとなっても、ルート選択肢があることが利点**と感じる。



（R6年9月 物流企業ヒアリング調査結果）

山陰道開通前



現況



山陰道開通後



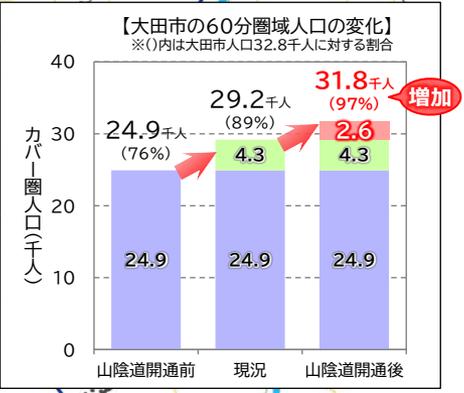
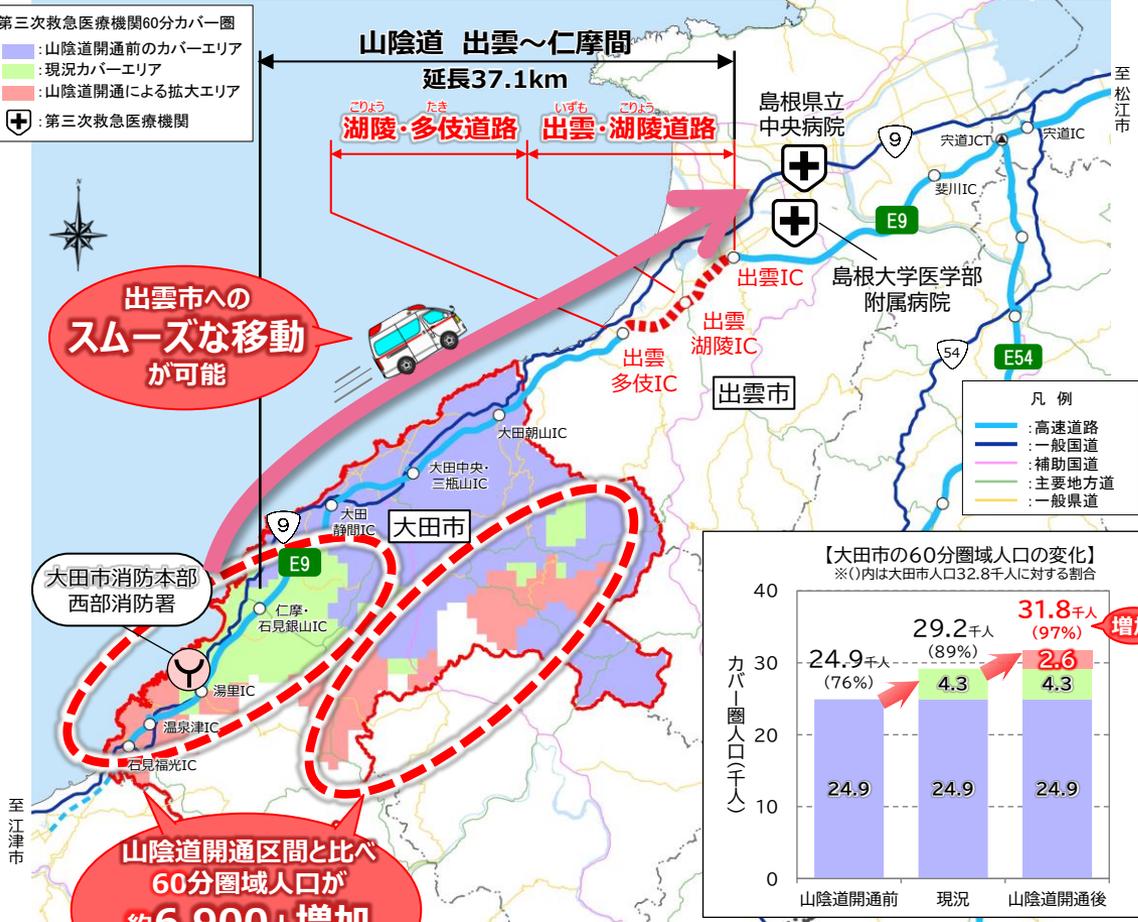
※山陰道開通前は出雲IC～仁摩・石見銀山IC間が未整備時点での算出。
※出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路は、V=70km/h、市道はV=30km/hとして算出。

資料：【山陰道開通前】H27全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度
【現況】【山陰道開通後】（通常時）H27全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度
（迂回路）R3全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度

地域安全保障の確保 (救急医療)

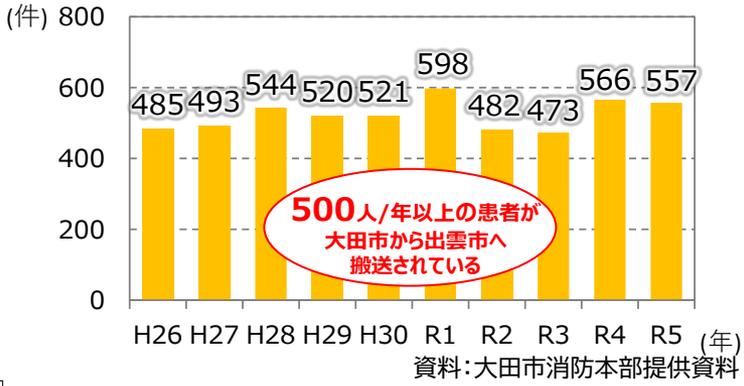
- 大田市から出雲市への第三次救急医療機関に、年平均500人以上の患者が搬送されています。
- 市を跨いで搬送では、搬送時にかかる時間や路面状況等の影響で患者に負担がかかっていました。
- 出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路の開通によって、出雲市と大田市が山陰道でつながり、**第三次救急医療機関の60分圏域が増加するほか、スムーズな移動により救命処置の安定や患者への負担軽減が期待されます。**

第三次救急医療機関への60分カバー圏域の変化



※出雲市の第三次救急医療機関から大田市内4ヶ所メッシュ中心までの最短時間の算出結果より整理
※速度はR3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度
※大田・静間道路、静間・仁摩道路はETC2.0(R6.8)の混雑時旅行速度
※出雲・湖陵道路、湖陵・多伎道路は70km/h
※人口はR2国勢調査(地域統計メッシュ)

大田市から出雲市への搬送状況



医療関係者の声

- 現道の線形不良区間を利用せず、路面状態の良い高速道路を通ることで、**救急車内での救命処置が安定する。**
- 大田市以西から出雲市方面の病院への、時間短縮効果が見込める等の、**救急搬送の更なる速達性や安全性の向上が期待できる。**

(R6年6月 大田市消防本部 ヒアリング調査結果)

- 出雲市～大田市間の高速道路が開通すれば、**搬送時間が短縮し、病院へのアクセスも良くなることで救命率の向上につながる。**
- ドクターカーにおいても**高速道路の方が圧倒的に搬送や処置がしやすい。**

(R6年9月 島根大学医学部附属病院 ヒアリング調査結果)